

大自然の中で大人も子どもも大はしゃぎ! 不忘オータムフェスタ

10月19日、不忘地区の自然を楽しんでもらおうと、地域の有志でつくる「不忘元気の会」の皆さんが、今年で3回目となる「不忘オータムフェスタ」を開催しました。恒例となったこのイベントには、市内をはじめ福島県や仙台市などから約1,300人の皆さんが訪れました。本年からは休校になった分校と、放牧地に釣り堀などを整備した、地域内の公園の2カ所を会場として、子牛とのふれあい体験やバター作り、ニジマスすくいや干し草ボールでの宝探しなど、大人も子どもも大はしゃぎで、不忘の大自然を満喫していました。



▲今年から始まったニジマスすくいのコーナーは大人気

さわやかな秋晴れの下、大道芸と県内各地の鍋を堪能 白石商工会議所主催「大道芸&鍋食べまくり」



▲歓声と拍手が次々とわき起こったジャグリング

10月19日、市内中心部で白石商工会議所が主催する「大道芸&鍋食べまくり」が開催されました。さわやかな秋晴れに恵まれたこの日は、開始時刻の10時からたくさんの市民が中町に設けられた歩行者天国に詰め掛け、披露された世界トップクラスの大道芸やよさこい踊り、フラダンス、沖縄の創作舞踊「エイサー」、ギター演奏などを堪能。正午前には気仙沼・仙台・白石の各商工会議所青年部の皆さんによる自慢の地元鍋と、(株)カキヤさんの創立35周年鍋を一口味わおうと長い行列が出来上がり、目と口で穏やかな休日を楽しんでいました。

発表者と来場者の心をつなぐ力作の数々と舞台発表 第34回あしたば白石まつり



▲コール・エコーの発表では、来場者と一緒に名曲を歌う場面も

10月18日・19日の2日間にわたり、働く婦人の家で第34回あしたば白石まつりが開催されました。この催しは、同施設を拠点に活動している、サークルや団体の発表の場として年に一度、実行委員会の主催で開催されているものです。会場内には写真や絵画、手芸、習字などの力作が展示されたほか、ダンスや琴、合唱などの舞台発表も次々と披露。たくさんの来場者でにぎわった今回のお祭りについて、実行委員長佐藤美保子さんは「発表する側としても、本当にうれしい限りです。今後も、もっと盛り上げていきたいです」と話していました。

地域コミュニティづくりのために! 旭町自治会で芋煮会

11月3日、住民の親ほくを深め地域のコミュニティづくりを進めようと、旭町自治会では65歳以上の皆さんを募り、芋煮会を自治会内の桜田集会所で開催しました。主催したのは、同自治会の有志でつくる若者会「ガンガラ組」(八島義松代表)で、回覧板で参加の申し込みを行った約20名が参加。福島市在住の音楽家、熊坂みさきさんの電子大正琴による懐メロの演奏会で芋煮会が開会。演奏会後には、若者会の皆さんが朝早くから準備した心づくしの手料理を食べながら、会場は楽しい会話で笑顔があふれていました。



▲熊坂みさきさんによる電子大正琴の演奏会

着物の魅力は時代を超えて 第5回白石城下きものまつり

10月17日～19日の3日間、中町のすまいるひろばや壽丸屋敷、城北町の白石・人形の蔵付近で第5回白石城下きものまつりが開催されました。この催しは「着物のまち白石」をピーアールしようと、白石まちづくり(株)が主催したものです。着物ファッションショーや展示会、古布作品の展示即売、昭和歌謡曲発表会などが行われ、会場とその周辺は、美しい着物姿の参加者でいつもと違った雰囲気に。ファッションショーに参加した、柴田町の八巻未紀さんは「現代にはない風合いが着物の魅力。これからも参加していきたいです」と話していました。



▲家族連れやカップルでの参加もあった着物ファッションショー

幼き子らの笑顔を思い浮かべながら 建設職組合青年部の皆さんが市内8保育園で奉仕作業



▲正確かつ機敏に作業を行う大工さん(深谷保育園)

10月26日、白石市建設職組合青年部の皆さんが、市内8保育園で柵の設置などの奉仕作業を行いました。同組合青年部では、20年ほど前から子どもたちの保育園生活に少しでも寄与したいと、年に一度奉仕作業を行っています。この日も市内の建設会社などで働く大工さん21名が、それぞれ担当する保育園に分かれて作業を実施。ホール・事務所での柵の設置や網戸の取り換え、雨よけシート用レールの取り付けなどを行いました。2時間ほどで作業は終了。一仕事を終えた大工さんに、各園の担当者から感謝とねぎらいの言葉が送られました。

たくさんの来場者と共に収穫の秋を楽しみました 第6回秋の検断屋敷まつり



▲大鷹沢小学校の皆さんによる団七踊り披露

11月3日、材木岩公園内で秋の検断屋敷まつりが行われました。恒例となった小原地区の皆さんによる南中ソーラン踊りや、大鷹沢小学校の皆さんによる団七踊り、地元の皆さんによるカラオケなどのステージ発表が披露され、来場者から大きな拍手が送られたほか、同日にいきいきプラザで行われた「みちのくおとぎ民話フェスタ」の第2会場として、検断屋敷内では民話の語りや腹話術、紙芝居なども実施。毎年恒例のりんごの皮むき大会やだるま落とし大会なども行われ、会場は一日中、たくさんの人でにぎわいました。

布の模様が絶妙のデザインを作り出す 第5回パッチワークキルト展

10月24日から26日までの3日間、ホワイトキューブで、第5回パッチワークキルト展が開催されました。市内で手芸店「フレレット」を営む高橋のりこさんが指導するパッチワーク愛好会が主催して、2年に一度開催しています。5回目となった今年の展示会には、市内をはじめ仙台市などの愛好会の会員、約50人の作品570点余りを展示。ホワイトキューブのアリーナに、ハロウィーンをイメージしたタペストリーやぬいぐるみ、バッグなど個性豊かな作品が所狭しと並べられ、訪れた人たちはじっくりと見入っていました。



▲まるで絵画のような作品も多数展示